



よみきかせボランティアのための

おすすめえほん

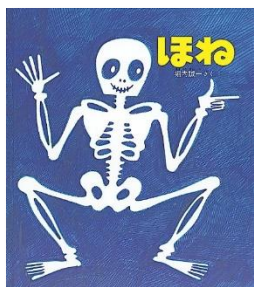
49号
2024
夏

小学1・2年に
おすすめ

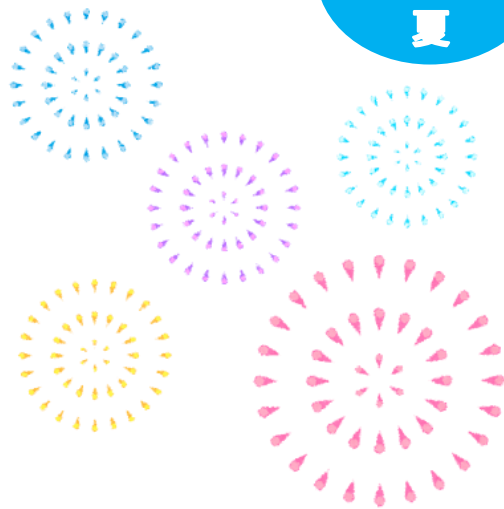
知識

『ほね』

堀内誠一//さく 福音館書店(約4分)



魚には骨がありますが、タコにはありません。人間は、骨格をつくり、関節と筋肉で体を動かし、骨で脳や内臓を守る役目をもっています。見た目は全然ちがう人間や動物、鳥、魚も、骨格は似ています。人間や動物の骨の働きをわかりやすく説明した科学絵本。ユーモラスな絵も楽しい。読み終えたあと、対になっている表紙と裏表紙をあわせて紹介してみましょう。



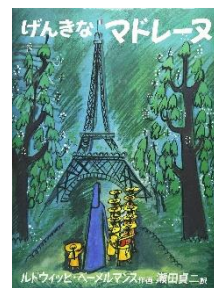
小学3・4年に
おすすめ

創作

『げんきなマドレーヌ』

ルドウィッヒ・ベームルマンス//作・画 瀬田貞二//訳 福音館書店(約6分)

パリの寄宿学校の古い屋敷に12人の女の子がミス・クラベルと暮らしていました。そのうち、一番おちびさんのマドレーヌは、怖いものなしの元気者ですが、ある夜、ワーワー泣き出して、救急車で病院に運び込まれます。舞台となるパリの風景が描かれた絵がしゃれていて、テンポのいい七五調の文章とともに読み聞かせにぴったりの絵本。続編もあり。



小学5・6年に
おすすめ

昔話

『ノックメニーの丘の巨人とおかみさん』

トミー・デ・パオラ//再話・絵 晴海耕平//訳 童話館出版(約15分)



むかし、気立てのいい巨人フィン・マクールとおかみさんのウーナが、ノックメニーの丘の家で、楽しく暮らしていました。そこへ、乱暴者の巨人ククーリンが、巨人みんなを痛めつけたあと、最後に残ったフィンを追って家にやってきます。けれども、おかみさんのウーナが、機転を利かせ……。トミー・デ・パオらしい暖かなユーモアのある絵が印象的なアイランドの昔話絵本。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

「子ども室」カウンターでも、質問などをお伺いしています。



[発行]

福井県立図書館子ども読書推進室
(2025.3 発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
TEL. 0776-33-8860